

# 昭和電工株式会社 東長原事業所だより

## 事業所特別安全祈念日



窪田事業所長による訓話

東長原事業所では、2008年8月9日のホスゲン漏洩事故の教訓を風化させないため、毎年8月9日を特別安全祈念日として、これまで様々な活動を展開してきました。

事故発生から10年目の本年8月9日、10回目の特別安全祈念日を迎えました。

当日は、事業所稲荷神社で拝礼を行った後、FC課職場代表者2名による安全宣言が場内放送で読み上げられると、全職場が緊張感に包まれ、二度と漏洩事故を起こしてはならないという強い決意表明に全員が聞き入りました。

会場を記念館へ移し、冒頭に窪田事業所長より、安全意識の向上とライン管理者の役割について訓話があり、矢野環境安全GLから当時のニュース映像の紹介がされました。その後、特別安全祈念日行事のメインイベントとして、今年はAGC(株)千葉工場の南川忠雄様を講師にお招きし、ヒューマンエラーの防止を目的とした「ノンテクニカルスキル研修会」を実施しました。いつもの教育とは一味も二味も違うワイワイ・ガヤガヤとした雰囲気でしたが、皆が真剣に取り組み、盛況のうちに特別安全祈念日は終わりました。

あらためて、ホスゲン漏洩事故の教訓を忘れてはならないという思いを強くするとともに、今後も特別安全祈念日の行事の内容を充実化し、ノンテクニカルスキル教育にも力を入れて行こうと感じた特別な1日となりました。



当時のニュース映像プレイバック



ノンテクニカルスキル研修会の様子

## 納涼祭

毎年恒例の納涼祭を8月3日に開催しました。オープニングには、南会津のよさこい団体「郷人(ごうじん)こめら」の皆さんのパフォーマンス披露を、メインステージでは「みちのくプロレス」によるプロレスショーを行っていただきました。

いつもの納涼祭会場とは違う6m四方のリングが会場中央に登場し、見慣れない会場に興奮が高まる中、シングルマッチ・タッグマッチが行われました。

場外乱闘、マイクパフォーマンス、軽妙な場内実況放送もあり、会場全体が大いに盛り上がりました。

そのほか「こどもじゃんけん大会」「大抽選会」も大盛況で進み、フィナーレでは「大打ち上げ花火」が夜空を飾り、3時間半に及ぶ納涼祭もあっという間に終了しました。

プロレス効果もあってか、今年は昨年を超える1,094名の方にご来場いただきました。納涼祭が地域の皆さんにも広く認知いただいているものと、あらためて御礼申し上げます。今後もアイデアの詰まった納涼祭を開催してまいりますので、ぜひご来場ください。



「みちのくプロレス」によるタッグマッチ



よさこいパフォーマンス



各出店も大盛況



沢山のご来場ありがとうございました

## アルミ缶リサイクル活動



下郷作業所ホイップ様へ寄贈



社会福祉協議会での受納式

東長原事業所では毎年、アルミ缶リサイクルのチャリティ収益金をもとにした物品寄贈を行っており、本年も2団体へ寄贈を行いました。

7月26日、下郷作業所ホイップ様へは生ごみ処理機を1台寄贈しました。ホイップ様では調理パンの製造や農作物の栽培などを行っており、生ごみ処理機は調理パンの製造の際に出るゴミの処理にお使いいただけるとの事です。

また、8月7日には会津若松市社会福祉協議会河東支所様へ、ハンディスキャナ、microSDカード、コーヒーマーカーを寄贈しました。コーヒーマーカーは、同所に併設の特別養護老人ホーム「桜河苑」にて、地域の方々と入所者のコミュニケーションを目的として6月より開業されたカフェ事業にてお使いいただけるとの事です。

今後もアルミ缶リサイクルを継続し、寄付を通じて社会貢献をしていきます。